２年次

項　目			内　容				評　価		
#	項　目	数値目標	研修すべき内容	行動目標との関係	時期	協力者	１．研修医→指導医	２．指導医→指導責任者	時期
							研修医は研修手帳に下記書類を添えて指導医へ提出（9月、3月）	指導医は評価終了後に研修手帳と各書類を、指導責任者へ提出	
1	プローベ診断（消化管）	消化管生検 1000件/年以上	・臨床的事項と病理診断との関連性	I-(2)-5	通年		・症例一覧表（書式は任意） –症例数の合計と内訳 （生検、切除、消化管、一般臓器） –免疫染色を行った症例数 –遺伝子検索を行った症例数 –コンサルトを行った症例数	指導医は各書類の確認と試問を行い、研修手帳の該当行動目標の「指導医評価」欄に評価(a–c)を記入. 年度で評価の変更がある場合、新たな評価を記入. 研修手帳と各書類を指導責任者に提出. ↓ 指導責任者は該当行動目標の「指導責任者評価」欄に、評価(a–c)を記入し押印. 評価終了後、研修手帳と各書類を研修医に返却. なお最終年次に各項目の最下段に最終評価(a, b)を記入し押印.	各年 2回 3月 9月
	切除例診断(消化器)	消化器切除例 150件/年以上	・生検、手術材料の診断と報告書作成	II-3					
	プローベ診断（一般臓器）	その他一般臓器 150件/年以上 4年間で合計5000例以上							
	切除例診断(一般臓器)								
	分子病理学的検索	遺伝子解析の実習　2週×1回 (KRAS, MSI)	・分子病理学的検索の基本	I-(2)-4	5月				
	コンサルト	・コンサルト 4年間で2回以上	・コンサルテーションの仕方	I-(2)-6	通年				
			・コメディカルとの協調	III-4					
2	病理学会および講習会	・学会　4年間で計4回以上 ・講習会　1回/年以上	・病理業務に関連する法および制度	I-(1)-1	随時		・学会受領書または受講証明書のコピー		
	病理学会東北支部地方会		・学会、研修会、セミナーへの参加	III-6					
	および講習会		・電子顕微鏡の基本	I-(2)-3					
3	学内医療安全管理部主催の講演会	1回/年以上	・病理業務に関するリスクマネージメント	I-(1)-2	随時		・受講証明書コピー		
			・病理業務におけるバイオハザード	II-7					
			・病理診断の精度管理	III-5					
4	剖検補助・執刀	10例/年以上 （4年間で40例以上. ただし剖検資格認定申請の20例を含む）	・病理解剖の執刀	II-1	通年		・剖検報告書コピー –補助例、執刀例		
	剖検例検討会		・病理解剖報告書の作成	II-2					
			・コメディカルとの協調	III-4					
5	病理部細胞診	300件/年以上(スクリーニング、陰性例を含む) （4年間で計1000例以上）	・細胞診材料の診断と報告書作成	II-4	通年		・細胞診件数（書式は任意）		
6	病理部迅速診断	15件/年以上 （4年間で計50件以上）	・迅速病理診断	II-5	通年		・迅速診断の報告書コピー		
7	学内CPC	CPC補助 計2例以上	・CPC	II-8	随時		・報告書コピー		
			・患者や遺族に対する配慮	III-1					
			・臨床医との適切な対応	III-2					
			・病理初期研修医に対する病理指導	III-3					
8	学会発表、論文執筆	1回/年以上 （4年間で学会発表または 原著論文、3件以上）	・研究と発表	III-8	随時		・学会演題の抄録コピー　または ・原著論文の別刷かコピー		